

2・15大雪ハウス災害、沢山のご支援ありがとうございました!! 支援金合計¥176,815を被害に遭われた農家さんに分配しました。



二本松市 佐藤佐市

ありがとうございます。資材はまだ入りませんが、入り次第再建します。それまでは露地栽培で作り、秋頃より再建、冬野菜を作り、皆様の期待に応えられるように頑張ります。



石川町 小豆畑守 倫子

お気持ち嬉しい。現場のパワーをオルガン堂などへ！お礼を込めて伺いたいです。夏野菜、楽しみにしててください。



石川町 吉田誓

思わぬ支援金ありがとうございます。これからオルガン堂などへの食材提供をしていきます。頑張ります。



二本松市 菅野瑞穂

ハウス支援金ありがとうございました。おかげで今年も例年通りトマト栽培ができます。皆様のご支援に感謝申し上げます。ぜひ、夏には美味しいトマトを食べに来て頂けると嬉しいです。



二本松市 大内信一 督

支援金ありがとうございます。災害に負けず、美味しい野菜を作ります!!



二本松市 齊藤登

これで早く再建して、美味しい野菜を作りたいと思います。ありがとうございます!!

とっても簡単レシピ ～ズッキーニ編～

かぼちゃの一種であるズッキーニですが、かぼちゃよりも水分を多く含み低カロリーであることが特徴です。ほかの野菜と比べて特に栄養が豊富というわけではありませんが、血圧を下げる作用や利尿効果などのあるカリウムは、同じ夏野菜であるトマトやきゅうり、なすよりも多く含まれています。

その他にも、皮膚や粘膜を強くするカロテン、免疫力を高めるビタミンC、貧血予防・改善や胎児の先天性障害のリスクを下げる作用をもつ葉酸なども適度に含んでいます。今が旬のズッキーニをオルガン堂キッチン担当タツヤが紹介します。

ズッキーニとトマトのグリル ～小女子ニンニクソース～

★材料★

- ・ズッキーニ 2本 ・プチトマト 適量
- ・小女子 適量 ・ニンニク 1片
- ・オリーブオイル 大さじ3

★作り方★

- ①ズッキーニ、トマトを同じ大きさにカットする。ニンニクをみじん切りにしておく。
- ②フライパンにオリーブオイル、ニンニクを入れから火に掛ける。
- ③ニンニクの香りが出てきたら小女子を入れて軽く炒める。
- ④ズッキーニを③に入れて塩を加えてしんなりするまで炒める。最後にトマトを入れて火が通ったら出来上がり。

ポイント

ニンニク、小女子が焦げるのが心配であれば、入れる順番を最後にしても大丈夫です。

オープンがある場合は、鉄板に油を敷き、野菜を並べたら上から塩を振り、230度で約30分、様子をしながらグリルします。

フライパンでオイル、ニンニク、小女子のソースを作っておき、グリルした野菜を絡めて完成。



小女子の塩つけがあるので、塩は野菜の旨味を引き出す程度の少量で。

バスタに、冷製にして前菜に、トマトソースに、アレンジ色々！



ふくしまオルガン堂下北沢

☆福島の旬の食材を使った「ふくしま定食」850円～

☆福島とルピシアとのコラボ紅茶「福恋とデザート畑」1000円(要予約)

住所 : 〒155-0032 東京都世田谷区代沢4丁目4-2

電話 : 03-3411-7205

営業時間 : 12:00～18:00

(18時以降は、5名様以上ご予約の場合営業。21時閉店)

HP : <http://www.farm-n.jp/yuuki/organ/>

電車 : 京王井の頭線「下北沢駅南口」より徒歩約12分

バス : 渋谷駅から、小田急バス: 経堂駅行、又は梅ヶ丘駅北口行

(いずれも渋54系統) に乗り、「代沢小学校」バス停下車



「どんな災害も乗り越え更に美味しいもの作りのために」

有機ネット理事長 菅野正寿

今年の2月15日の大雪災害にあたり、多くの皆様から心温まる農業用ハウス再建の支援金をいただき本当にありがとうございました。生産者を代表しまして厚く御礼を申し上げます。お陰様で春のトマト、きゅうりなどの作付をすることができ、野菜が順調に育っています。(まだ一部資材が滞っており秋にハウス再建の方もいます)自然の猛威の前には人間の非力さを痛感しますが、同時に太陽、水、土、風、この自然の力で作物の豊かな稔りがあることも痛感しています。この春はエルニーニョ現象の心配もされましたが、6月の高温、7月の適度な梅雨によりトマトも無農薬で生育しています。

福島を応援して下さる皆さんにいつまでも甘えることなく、支援から支持される美味しい米、野菜、果物づくりに努力することが求められていると感じています。これからは顔の見える、「ものがたりのあるものづくり」に励んでいきたいと思えます。

230年前の天明の大飢饉の惨状を記した石碑が二本松市東和町の木幡山隠津島神社境内にあります。「為民」と題する天明飢饉の碑には、「夏より霖雨降り続き、奥羽二国五穀実らず山里は種をも失ふ故に、わらの粉のもち又草木の根葉まで食すれども、飢えて死する人数を知らず(以下略)」と刻まれています。旧東和村、旧山木屋村(現在避難解除準備区域)をはじめ1,000人もの餓死者が出て、その後も冷害、旱魃、大雨が何年も続きました。二本松藩にその窮状と年貢の免除を求めて15,000人余の農民一揆を起していきます。この教訓から明治、大正、そして戦後も農村復興策として、特産物(養蚕、葉タバコ)や畜産の振興、小麦、大豆、じゃがいも、などを奨励して開墾と食糧増産を図ったとされています。(東和町史、二本松市史)

この多様な農村復興策により福島県は多様な食文化が育まれてきたのだと思います。

今年の大雪被害は、規模拡大と価格競争のなかで関東から南東北の農業用ハウス栽培のありかたに警鐘をならしたと感じています。もう一度、風土に適した栽培と自給、そこでの食文化のありかたを再生しなければならないと思っています。

東北の農民が天明の大飢饉も幾多の災害も乗り越えて農村復興策をつくり、多様な農と食の復興を築いてきたように、私たちもまた、この原発、放射能とむきあい、農業再生復興策を提言して乗り越えていかなければならないと思っています。これからも皆さんと共にすすんでいきたいと思えますのでどうぞよろしく願います。

菅野 正寿のプロフィール

すげのせいじ

有機ネット理事長

遊雲の里ファーム主宰。

ゆうきの里ふるさとづくり協議会特産理事。

妻のまゆみさん、娘の瑞穂さんと共に農業を営む。

共著「脱原発社会を創る30人の提言」「放射能に克つ農の営み」

(コモンズ)



ご意見ご感想を

お寄せ下さい!

[E-mail] ✉

h@farm-n.jp

[Twitter] 🐦

@hukuyuukinet

[FAX] 📠

0243-24-1796